

2020

環境経営レポート

対象期間：2020年8月～2021年7月

発行日：2021年9月30日

株式会社豊解体工業



目 次

1.	組織の概要	p. 1
2.	解体工事により発生した産業廃棄物の処理量	p. 4
3.	環境経営方針	p. 5
4.	実施体制、認証・登録の対象範囲	p. 6
5.	環境経営目標	p. 7
6.	環境経営計画	p. 8
7.	環境活動の取組結果とその評価、次年度取組内容	p. 9
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無	p. 16
9.	代表者による全体の評価と見直しの結果	p. 17
10.	次年度以降の環境経営目標	p. 18



組織の概要

事業所名	株式会社 豊 解 体 工 業
所 在 地	【本社】 〒832-0051 福岡県柳川市佃町1312-6 TEL : 0944-72-4593 FAX : 0944-73-9204 E-mail : info@yutaka-group.net 【久留米営業所】 〒830-0072 福岡県久留米市安武町安武2257-1 TEL : 0942-51-9366 FAX : 0942-51-9388
代 表 者	代表取締役 山上知子
創 立	昭和43年10月
資 本 金	1,000万円
従業員数	27名
H P	https://www.yutaka-group.net/
組織概要	環境管理責任者：山上知子 E A 21事務局：津田香織
事業概要	解体工事業、とび・土工工事業、土木工事業、 産業廃棄物中間処理業、産業廃棄物収集運搬業、 一般廃棄物収集運搬業
会計年度	8月1日～翌年7月31日
事業規模	売上高：447百万円(R2年度) 事業所総面積：724.14m ² 産業廃棄物中間処理量 6,440.58 t (R2年度) 産業廃棄物収集運搬量 19,277.69 t (R2年度) 一般廃棄物収集運搬量 3.00 t (R2年度)
積替保管施設	有（面積：10.15m ² 、保管上限：13.7m ³ ）
加盟団体	公益社団法人福岡県資源循環協会 一般社団法人建築士事務所協会 柳川・久留米商工会議所

許可内容

許可一覧表

種 別		自治体	許 番 可 号	許可日	許可期限	積保	廃ﾌﾟﾗ	紙	木	繊維	ゴム	金属	ガラス陶磁器	がれき	燃殻	汚泥	廃油	廃酸	廃ﾌﾙｶ	鉱さい	ばいじん	廃石綿	13号	
産業廃棄物 収集運搬業		福岡県	04010010313	H29. 6. 19	R6. 6. 18	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
						積保品目	○	○	○	○			○	○	(石綿含有産業廃棄物であるものを含む)									
		佐賀県	04103010313	R3. 7. 1	R8. 6. 30	無	○	○	○	○	○	○	○	○										
		熊本県	04305010313	H29. 12. 12	R6. 12. 11	無	○	○	○	○	○	○	○	○										
		大分県	04407010313	H28. 2. 14	R5. 2. 13	無	○	○	○	○	○	○	○	○										
		長崎県	04200010313	H30. 10. 27	R7. 10. 26	無	○	○	○	○	○	○	○	○										
特別管理 産業廃棄物 収集運搬業		福岡県	04050010313	H28. 1. 24	R5. 1. 23	無									○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		佐賀県	04153010313	H30. 10. 28	R7. 10. 27	無										○	○	○	○	○	○	○	○	○
		熊本県	04355010313	H30. 3. 7	R5. 3. 6	無																	○	
産業廃棄物 中間処分量	選別						○	○	○	○	○	○	○	○										
	破砕 (移動式兼用)	福岡県	04020010313	H27. 3. 30	R4. 3. 29				○				○	○										
	破砕 (移動式)	久留米市	11220010313	R2. 3. 30	R9. 3. 29				○					○										
一般廃棄物 収集運搬業		柳川市	第3-5号	R3. 4. 1	R5. 3. 31	無	可燃物（木くず・紙くず）・粗大ゴミ																	

建 設 業	福岡 県知事	般-1 第37216号	R2. 1. 16	R7. 1. 15	建設業の種類：解体工事業、土木工事業、とび・土木工事業																
-------	-----------	----------------	-----------	-----------	-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

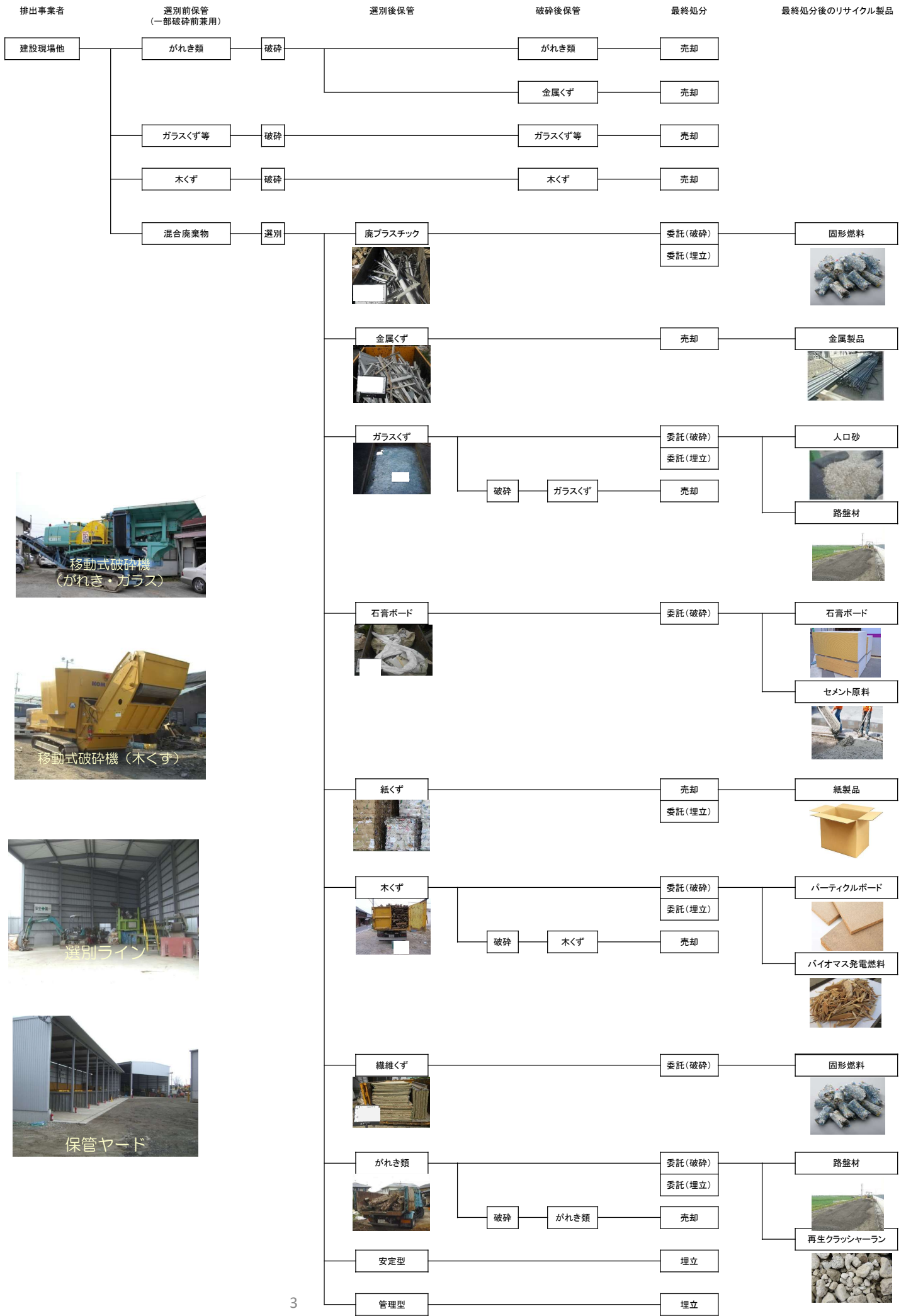
設置場所	選別	福岡県柳川市佃町字庄左衛門1314番1外1筆
	破砕 (移動式)	福岡県柳川市佃町字庄左衛門1314番1

車両の種類と台数

車両名	台数	車両名	台数
2 t ダンプ	2	2 t コンテナ車	2
4 t ダンプ	5	3 t コンテナ車	1
6 t ダンプ	1	4 t コンテナ車	3
2 t キャブ	1	8 t コンテナ車	1
4 t キャブ	1	10 t コンテナ車	1
7 t キャブ	1	軽トラック	2
運 搬 車	1	【 合 計 】	22



廃棄物処理工程図



解体工事により発生した産業廃棄物の処理量

解体工事で発生した産業廃棄物を、すべて自社で収集運搬しています。収集運搬した産業廃棄物19,278m³のうち、約1/3の6,441m³は自社の中間処理場で選別処理を行ってから他社の資源化処理場又は最終処分場に搬出し、解体現場での分別で十分と判断した残り約2/3は解体現場から他社の資源化処理場へ直接搬入しています。

なお、下請解体工事として収集運搬及び中間処理を受託した産業廃棄物は、収集運搬量の94%、及び中間処理量の96%を占めています。

(i) 収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
木くず	m ³	8,815.16
がれき類	m ³	5,208.19
ガラス・陶磁器くず	m ³	915.17
金属くず	m ³	2,820.20
廃プラスチック類	m ³	1,133.78
紙くず	m ³	128.78
繊維くず	m ³	256.41
合 計	m ³	19,277.69

(ii) 中間処理

中間処理	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量	うち再資源化等
	木くず	選別	m ³	2,015.95	2,015.95
	がれき類	選別	m ³	1,239.96	247.99
	ガラス・陶磁器くず	選別	m ³	662.07	662.07
	金属くず	選別	m ³	1,597.90	1,597.90
	廃プラスチック類	選別	m ³	693.91	693.91
	紙くず	選別	m ³	105.58	105.58
	繊維くず	選別	m ³	125.21	125.21
合 計			m ³	6,440.58	5,448.61

(iii) 中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

中間処理後の 産業廃棄物		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等
	処 最 分 終	がれき類	安定型最終処分(委託)	m3	991.97
		小 計		m3	991.97
	(再資源化等) 中間処理	木くず	燃料として再生利用(委託)	m3	2,015.95
		がれき類	路盤材として再生利用(委託)	m3	247.99
		ガラス・陶磁器くず	路盤材として再生利用(委託)	m3	662.07
		金属くず	鉄鋼原料として再生利用(委託)	m3	1,597.90
		廃プラスチック類	燃料として再生利用(委託)	m3	693.91
		紙くず	再生紙原料として再生利用(委託)	m3	105.58
		繊維くず	燃料として再生利用(委託)	m3	125.21
		小 計		m3	5,448.61
合 計			m3	6,440.58	

【注】現時点で、処理方法は「選別」のみとなっています。

【環境理念】

株式会社豊解体工業は、解体工事業と産業廃棄物中間処理業のサービスを提供する企業として、取り巻く全ての人達や地球環境を守るために、法令に則り、環境保全に幅広く積極的に取り組むとともに、提供しているサービスが環境保全に大きく係わり合っているという認識を全員が持ち、一丸となって継続的に改善活動に取り組むことを推進します。

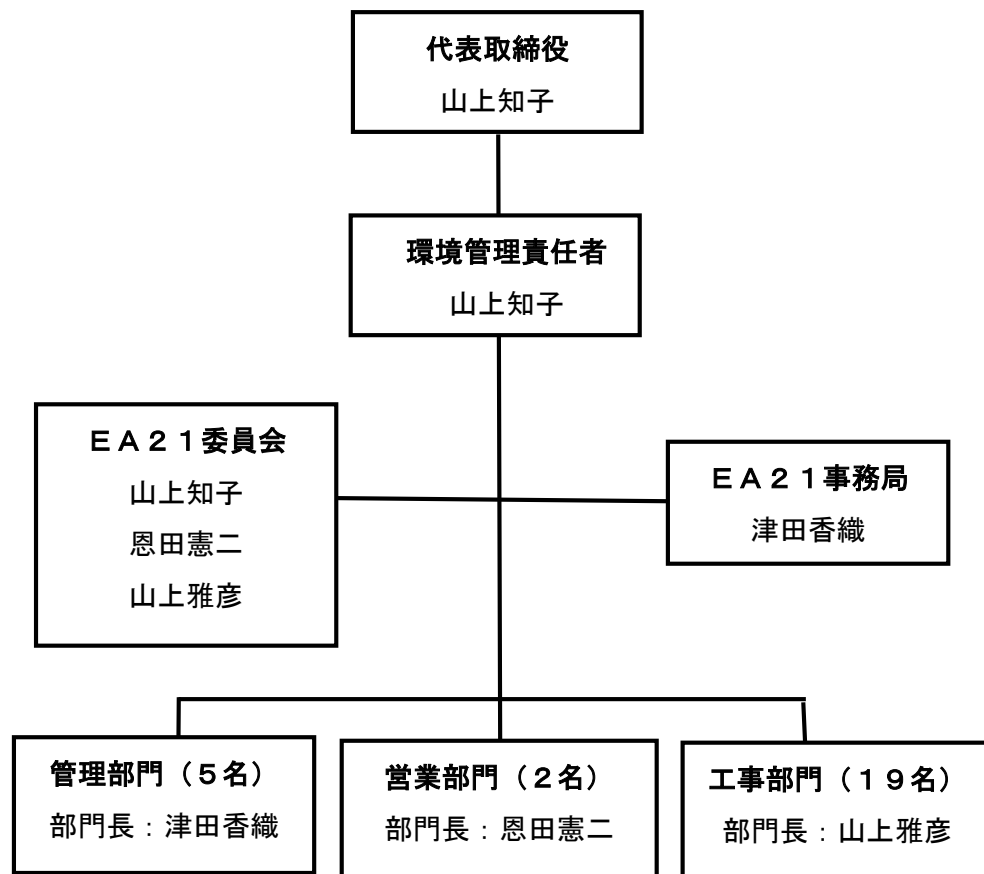
【行動指針】

1. 事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の取り組みを行います
 - 1) 電力、燃料使用量の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 水使用量の削減
 - 3) 一般廃棄物排出量の削減
 - 4) グリーン購入の推進
 - 5) 産業廃棄物処理における環境配慮
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守し、環境汚染の防止や環境保全の改善を積極的に推進します
3. 地域のボランティア活動を含めた環境保全活動の推進に寄与し、環境負荷の少ない地域社会創りに貢献します
4. 安全・環境パトロールの実施により、環境関連法規等の徹底した管理、また環境負荷に対する改善意識の維持向上に努めます
5. 環境活動の結果を、環境活動レポートとして取りまとめ公表します

改訂日：2020年8月1日

株式会社豊解体工業
代表取締役 山上知子

EA21実施体制



※対象範囲：全組織・全活動を認証・登録範囲とする

所 属	役割・責任・権限
代表取締役	・ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・ 環境管理責任者、EA21委員会委員、EA21事務局員を任命する ・ 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する ・ EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・ EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・ 上記の結果を社長に報告する
EA21委員会	・ 3ヶ月に1回開催し、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を審議する
EA21事務局	・ 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類の作成・維持・管理を行う ・ 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・ 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ・ 自部門の環境経営目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う ・ 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・ 自部門に関連する法規制等を順守する ・ 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・ 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環境経営目標

環 境 目 標			単位	基準値 (H28年度実績)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
1	二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO2 /百万円	1,194	1,182 (△ 1%)	1,182 (△ 1%)	1,182 (△ 1%)	1,182 (△ 1%)
	①電気使用量の削減	本社・ 処理場	kg-CO2 /百万円	28.5	28.2 (△ 1%)	28.2 (△ 1%)	28.2 (△ 1%)	28.2 (△ 1%)
	②ガソリン使用量の削減	本社	kg-CO2 /百万円	130	128 (△ 1%)	128 (△ 1%)	128 (△ 1%)	128 (△ 1%)
	③ガソリン使用量の削減	現場等	kg-CO2 /百万円	11.2	11.0 (△ 1%)	11.0 (△ 1%)	11.0 (△ 1%)	11.0 (△ 1%)
	④軽油使用量の削減	現場等	kg-CO2 /百万円	1021	1,010 (△ 1%)	1,010 (△ 1%)	1,010 (△ 1%)	1,010 (△ 1%)
2	一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ・古紙)	本社	kg /従業員数 (人)	48.9	48.4 (△ 1%)	48.4 (△ 1%)	48.4 (△ 1%)	48.4 (△ 1%)
3	水使用量の削減	本社・ 処理場	m ³ /従業員数 (人)	7.4	7.3 (△ 1%)	7.3 (△ 1%)	7.3 (△ 1%)	7.3 (△ 1%)
4	グリーン購入の推進	本社	品目	4	6	6	6	6
5	受託した産業廃棄物の処理に おける環境配慮	本社	適正管理の点検・確認を定期的実施します					
		処理場	環境保全のためのエコカー購入を推進します					
6	安全・環境パトロールの強化	現場等	回	24	24	24	24	24
7	地域貢献活動の推進 (清掃、環境イベント等参加)	本社	回	5	6	6	6	6

備考：・（ ）内％は、H.28年度の実績をベースとしての削減率
・二酸化炭素排出係数：0.385kg-CO2/kWh（九州電力、平成22年度）
・“百万円”は全事業活動の売上高の単位

環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール											
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1 電気使用量の1%削減	津田	1 エアコン設定温度を決め、実行する	管理部門	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
		2 空調フィルターの定期清掃を実行する		○		○		○		○		○		○	
		3 不在時、休み時間の消灯実施		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		4 グリーンカーテンを作成する		○	○							○	○	○	○
2 ガソリン使用量(営業車)の1%削減	恩田	1 アイドリングストップを推進する	営業部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 加減速(急発進、急ブレーキ)を抑えた運転を推進する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 タイヤ空気圧の確認を行う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 ガソリン使用量(建設現場)の1%削減	山上雅彦	1 エコドライブを推進する	工事部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 加減速(急発進、急ブレーキ)を抑えた運転を推進する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 タイヤ空気圧の確認を行う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 軽油使用量(建設現場)の1%削減	山上雅彦	1 エコドライブを推進する	工事部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 加減速(急発進、急ブレーキ)を抑えた運転を推進する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 タイヤ空気圧の確認を行う		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 一般廃棄物排出量の削減

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール											
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1 3R活動の促進	津田	1 印刷機能(Nアップ・両面)、裏紙の使用を推進する	管理部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 再利用不可能な紙類はシュレッターに掛け、リサイクルする		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3. 水使用量の削減

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール											
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1 節水活動	津田	1 前面道路清掃時に高圧洗浄機を使用する	管理部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

4. グリーン購入の推進

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール											
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1 エコ商品購入の促進	津田	1 グリーン商品(事務用品)購入を推進する	管理部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 エコマーク商品購入を推進する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5. 受託した産業廃棄物の処理における環境配慮

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール											
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1 車両購入、選択にあたっての配慮	山上雅彦	1 環境配慮型車両(エコカー)を購入する	工事部門					○							

6. 安全・環境パトロールの強化

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール											
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1 現場での環境保全活動の促進	恩田・山上	1 整理、整頓に努める	営業・工事部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 クレーン処理(粉塵、騒音等)を徹底する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 無事故(物損、車両等)を徹底する		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

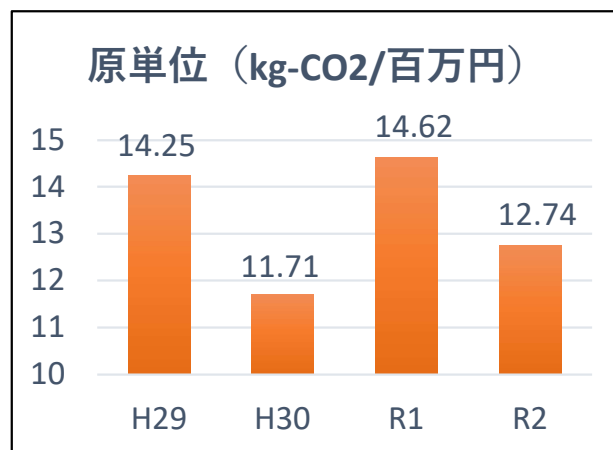
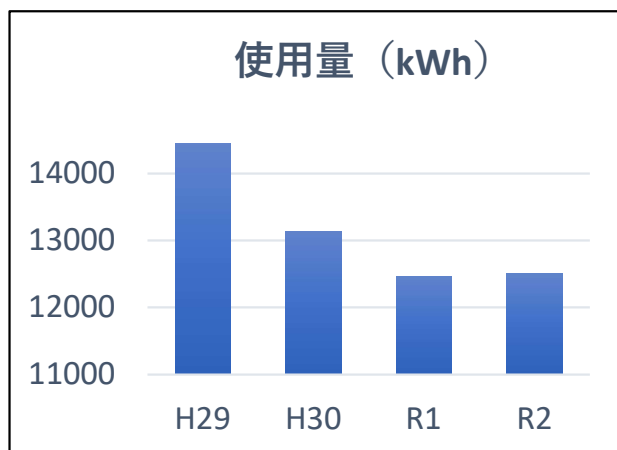
7. 地域貢献活動の推進

取組目標	責任者	活動項目	実施部門	スケジュール											
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
1 環境保全活動の促進	津田	1 会社前面道路の清掃活動に取り組む	管理部門			○							○		
		2 地域、所属団体等の環境活動に積極的に取り組む		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

環境活動の取組結果とその評価、次年度取組内容

電気使用量

電気使用量			
年度	目標 (原単位) kg-CO2/百万円	実績 (使用量) kWh	実績 (原単位) kg-CO2/百万円
H29	28.2	14448.00	14.25
H30	28.2	13141.00	11.71
R1	28.2	12471.00	14.62
R2	28.2	12506.00	12.74

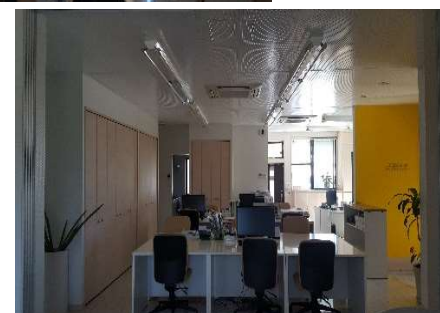


【本年度の取組内容】

1. エアコンの設定温度を決め、実行する
2. 空調フィルターの定期清掃を実行する
3. 不在時、休み時間の消灯実施
4. グリーンカーテンを作成する

【評価】

問題なく目標を達成することができた。
前年度と比べると、多少削減することはできたが、通常の活動でできた。
グリーンカーテンは、あまり効果がないように思えるため、次年度からの中間目標の策定では違う取組を検討したい。



【休み時間の消灯】

ガソリン使用量

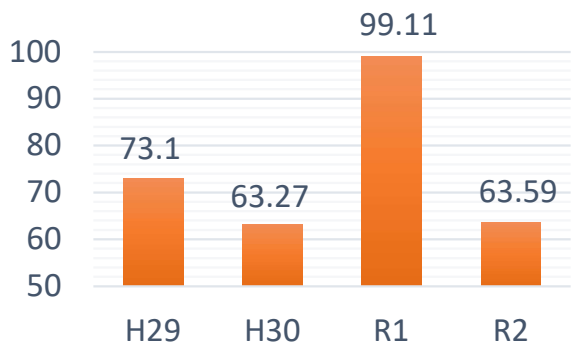
ガソリン使用量（営業車）

年度	目標 (原単位) kg-CO2/百万円	実績 (使用量) L	実績 (原単位) kg-CO2/百万円
H29	128.0	12145.74	73.10
H30	128.0	12483.08	63.27
R1	128.0	14365.04	99.11
R2	128.0	10320.72	63.59

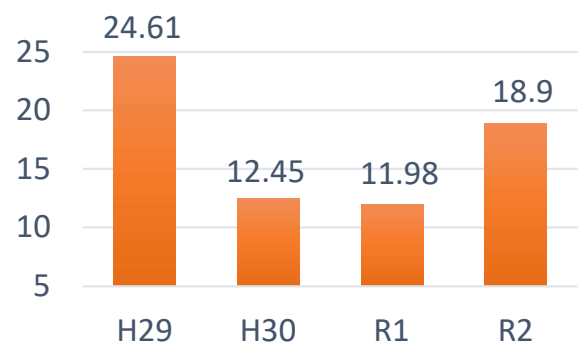
ガソリン使用量（建設現場）

年度	目標 (原単位) kg-CO2/百万円	実績 (使用量) L	実績 (原単位) kg-CO2/百万円
H29	11.0	4384.09	24.61
H30	11.0	2583.47	12.45
R1	11.0	1576.56	11.98
R2	11.0	2793.86	18.90

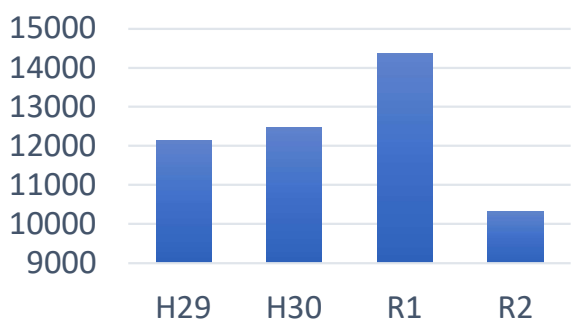
原単位（kg-CO2/百万円）



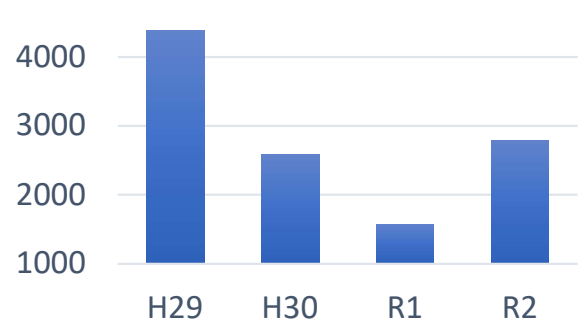
原単位（kg-CO2/百万円）



使用量（L）



使用量（L）



【本年度の取組内容】

1. エコドライブを推進する
2. 加減速（急発進、急ブレーキ）を抑えた運転を推進する
3. タイヤ空気圧の確認を行う

【評価】

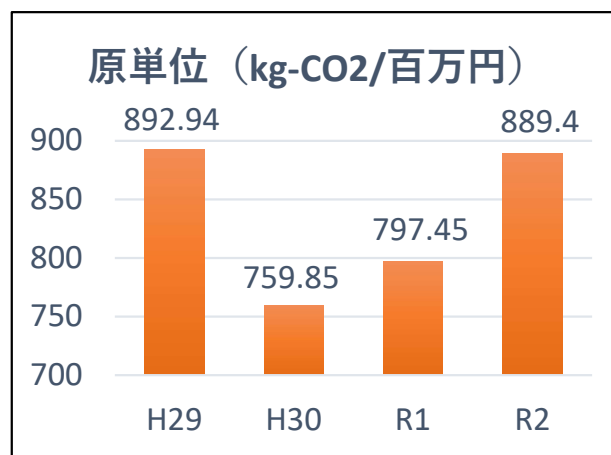
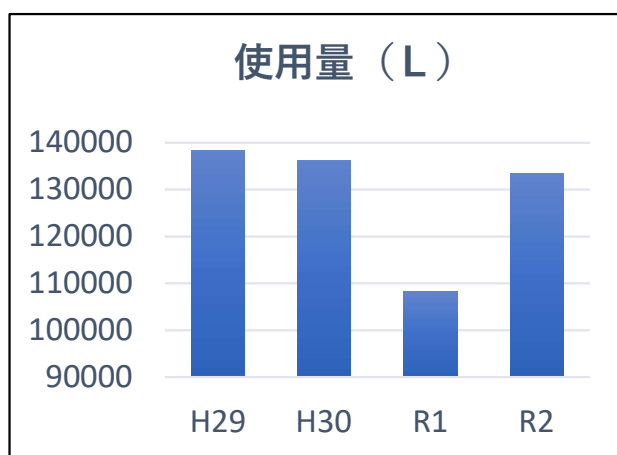
本年度も建設現場でのガソリン使用量の目標を達成することができなかった。現場の工事内容によって使用量は異なるため、削減は難しいところではあるが、次年度からの中期目標の数値は検討した方がよい。



【エコドライブの推進】

軽油使用量

軽油使用量（建設現場）			
年度	目標 （原単位） kg-CO2/百万円	実績 （使用量） L	実績 （原単位） kg-CO2/百万円
H29	1,021	138332.50	892.94
H30	1,021	136371.66	759.85
R1	1,021	108205.57	797.45
R2	1,021	133414.12	889.40



【本年度の取組内容】

1. エコドライブを推進する
2. 加減速（急発進、急ブレーキ）を抑えた運転を推進する
3. タイヤ空気圧の確認を行う

【評価】

本年度も目標を達成することができた。売上が前年度と比べて増加したので、総排出量も増加となったが、日々の取組によって、二酸化炭素は大きく排出量も変動することはない。引き続き、取り組んでいきたい。

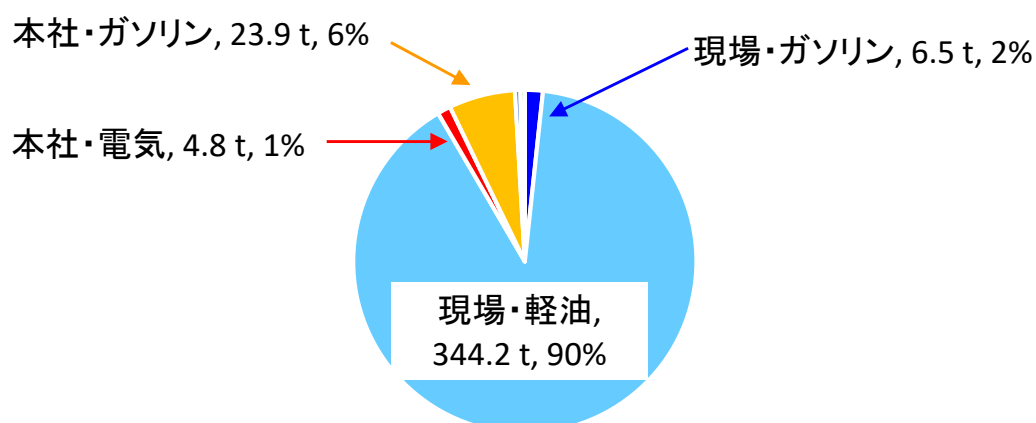
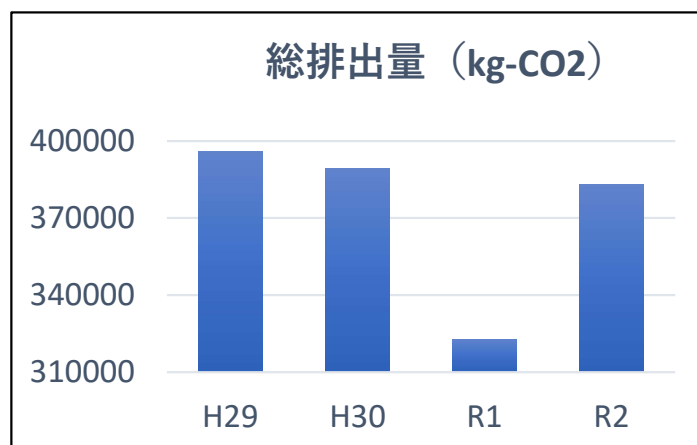
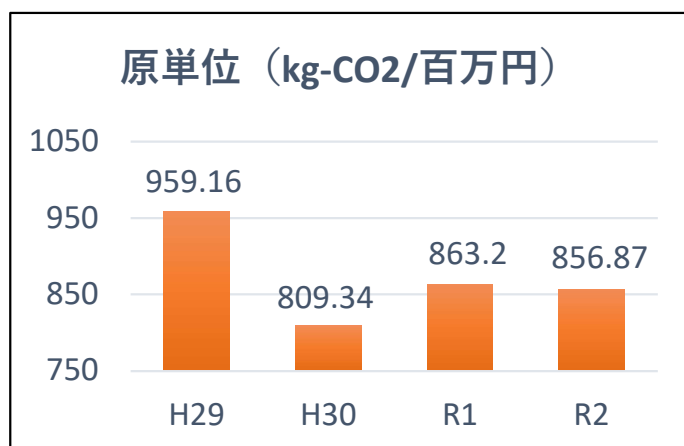


【タイヤ空気圧の点検】

CO2排出量

CO2排出量			
年度	目標 (原単位) kg-CO2/百万円	実績 (原単位) kg-CO2/百万円	実績 (総排出量) kg-CO2
H29	1,182	959.16	396,134.90
H30	1,182	809.34	389,292.30
R1	1,182	863.20	322,836.60
R2	1,182	856.87	383,022.33

※九州電力の排出係数: 0.385kg-CO2/kWh



二酸化炭素排出量

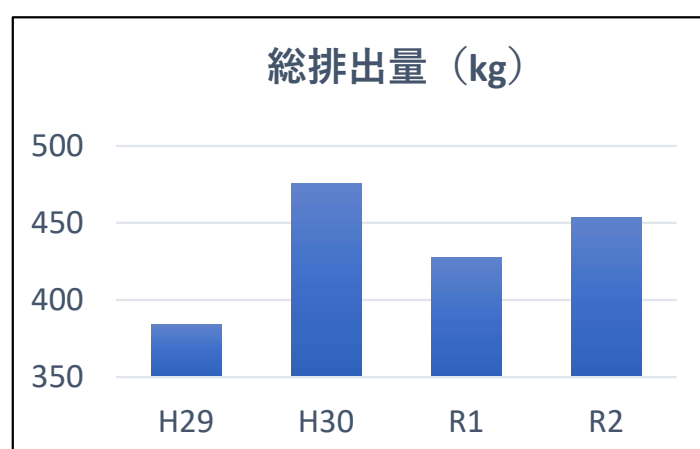
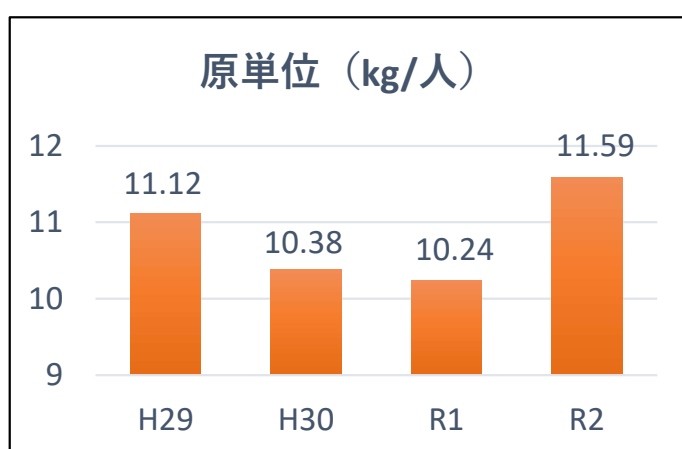
【 評価 】

本年度も、現場のガソリン使用量以外は目標は達成することができた。工事内容（建物の構造、解体方法、現場から処分場までの距離、運搬車両の大きさ等）によって使用数量も変動するが、日々の取組を実施することによって大きな増減はない。次年度は中期目標を策定する時期であるため、もう少し高めの目標を設定してもよさそうだ。



一般廃棄物排出量

一般廃棄物排出量					
年度	目標 (原単位) kg/人	実績 (原単位) kg/人	実績 (総排出量) kg		
			可燃ゴミ	資源ゴミ	合計
H29	48.4	11.12	294	90	384
H30	48.4	10.38	306	170	476
R1	48.4	10.24	288	140	428
R2	48.4	11.59	294	160	454



【 本年度の取組内容 】

1. 印刷機能（Nアップ・両面）、裏紙の使用を推進する
2. 再利用不可能な紙類はシュレッターに掛けリサイクルする

【 評価 】

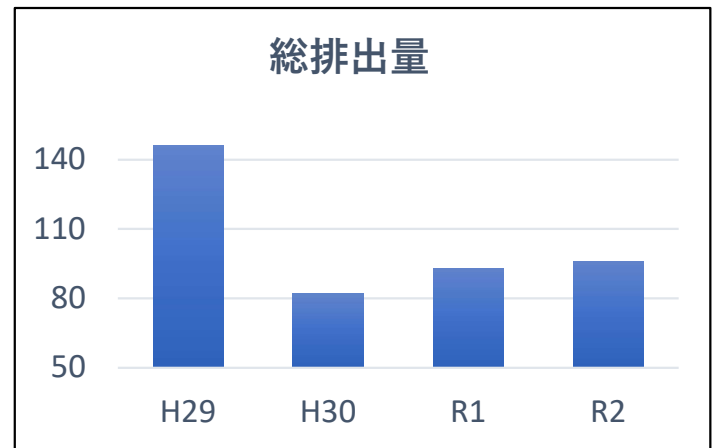
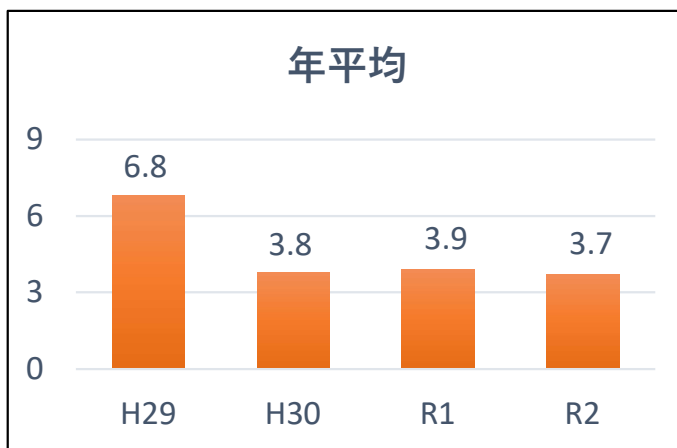
本年度も目標達成することができた。
取組内容は引き続き実施するとともに、次年度からの中期目標設定では、目標数値を高める必要がある。



【紙類のシュレッター】

水 使 用 量

水使用量			
年度	目標 (原単位) m3/人	実績 (原単位) m3/人	実績 (総使用量) m3
H29	7.3	6.8	146
H30	7.3	3.8	82
R1	7.3	3.9	93
R2	7.3	3.7	96



【 本年度の取組内容 】

1. 前面道路清掃時に高圧洗浄機を使用する

【 評価 】

本年度も目標を達成することができた。
人手不足もあり、以前は毎日実施していた清掃を1～2回/週に減少していったが、水道管の破損により水が流出し、使用量が大幅に減少することにはならなかった。次年度からの中期目標は高めに設定する必要がある。



【高圧洗浄機での道路清掃】

グリーン購入

【本年度の取組内容】

1. グリーン商品（事務用品）購入を推進する
2. エコマーク商品購入を推進する

【評価】

問題なく目標を達成することができた。次年度も引き続き取り組んでいく。

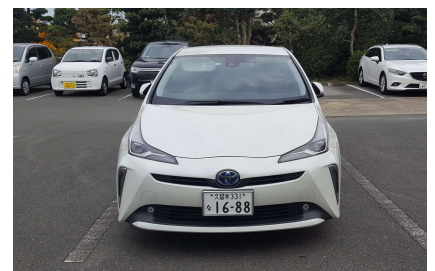
環境配慮型車両の購入

【本年度の取組内容】

1. 環境配慮型車両を購入する

【評価】

本年度は営業車の環境配慮型を購入することができた。引き続き、実施していく。



【エコカーの導入】

安全・環境パトロール

【本年度の取組内容：現場での環境保全活動の促進】

1. 整理、整頓に努める
2. クレーム（粉塵、騒音等）の発生防止を徹底する
3. 無事故（物損、車両等）を徹底する

【評価】

事故等発生したが、すぐに再発防止の処置を行うことができた。次年度も引き続き取り組んでいく。



【安全・環境パトロール】

地域貢献活動

【本年度の取組内容】

1. 会社前面道路の清掃活動に取り組む
2. 地域、所属団体等の環境活動に積極的に取り組む

【評価】

予定していた所属団体の清掃活動がコロナで中止となり、目標を達成することができなかった。次年度も、引き続き実施していく。



【会社前面道路の清掃活動】

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法令等に定める基準値の遵守に努めてきた結果、違反行為、関係機関等からの指摘及び訴訟はありませんでした。

NO	環境関連法規	遵守状況
1	産廃処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	適正
2	家電リサイクル法	適正
3	建設リサイクル法	適正
4	水質汚濁防止法	適正
5	浄化槽法	適正
6	土壌汚染対策法	適正
7	大気汚染防止法	適正
8	フロン排出抑制法	適正
9	騒音規制法	適正
10	振動規制法	適正
11	消防法	適正
12	労働安全衛生法	適正
13	高圧ガス保安法	適正
14	オフロード法	適正

今回の取組の評価結果：

昨年に引き続き、概ね目標を達成することができた。しかし、二酸化炭素排出量削減では、現場でのガソリン使用量がここ数年目標達成することができていない。工事内容により取組が難しいところもある。その他の取組は、問題なく取り組むことができるように根付いてきている。

環境経営システムの評価結果：

管理部（事務所内）と工事部（現場）は、本年度も計画に基づき取り組むことができた。受注工事量等は前年度より増加したが、環境目標もほぼ達成することができた。本年度は新型コロナウイルスの感染拡大が問題とされ、外部が通年開催する安全大会、勉強会、清掃活動等の中止が相次ぎ、大変な世の中になっているが、弊社は大きな影響もなく終えることができた。

見直しの結果：

現場においていくつか問題が発生したが、すぐに是正処置ができた。また、事務所内でも問題なく取組ができていたので、このままEA21委員会メンバーを中心に実施していきたい。次年度は、中期目標の策定が必要のため、今までの目標の見直しは必要となる。エコアクション21に取り組んで7年を迎え、今までの経験を生かして高い意識で臨めるような目標を設定したい。その結果、CO2排出量の90%は収集運搬と重機用の軽油が占めていることから、原単位は「売上」ではなく「収集運搬量」とする。



次年度以降の環境経営目標

環境目標			単位	基準値 (R2年度実績)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1	二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO2	383,002	379,172 (△ 1%)	375,342 (△ 2%)	371,512 (△ 3%)	367,682 (△ 4%)
	①電気使用量の削減	本社 処理場	k W h	12,506	12,381 (△ 1%)	12,256 (△ 2%)	12,131 (△ 3%)	12,006 (△ 4%)
	②ガソリン使用量の削減	本社	L	10,321	10,218 (△ 1%)	10,115 (△ 2%)	10,012 (△ 3%)	9,908 (△ 4%)
	③ガソリン使用量の削減	現場等	L	2,794	2,766 (△ 1%)	2,738 (△ 2%)	2,710 (△ 3%)	2,682 (△ 4%)
	④軽油使用量の削減	現場等	L	133,414	132,080 (△ 1%)	130,746 (△ 2%)	129,412 (△ 3%)	128,077 (△ 4%)
2	一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ・古紙)	本社	kg	454	449 (△ 1%)	445 (△ 2%)	440 (△ 3%)	436 (△ 4%)
3	水使用量の削減	本社 処理場	m3	96	95 (△ 1%)	94 (△ 2%)	93 (△ 3%)	92 (△ 4%)
4	グリーン購入の推進	本社	品目	25	26	27	28	29
5	受託した産業廃棄物の 処理における環境配慮	本社	適正管理の点検・確認を定期的の実施します					
		処理場	環境保全のためのエコカー購入を推進します 産業廃棄物(安定型埋立処分場行き)の再資源化を推進します					
6	安全・環境パトロールの強化	現場等	回	24	24	24	24	24
7	地域貢献活動の推進 (清掃、環境イベント等参加)	本社	回	3	4	4	4	4

備考：・（ ）内％は、R2年度(2020年度)の実績をベースとしての削減率
・二酸化炭素排出係数：0.479kg-CO2/kWh(九州電力、2020年度)